

支台歯形成の基本に立ちかえる ～クラウンからブリッジまで～



川 西 範 繁

補綴科 クラウンブリッジ診療部門 講師

抄録文：

支台歯形成は、補綴歯科治療において誰もが経験する基本的かつ重要なステップです。しかし「基本」であるがゆえに、臨床現場においては流れ作業的に行われたり、患者希望や材料選択に左右されることも少なくありません。その結果、形成後に修正を余儀なくされたり、予後に不安を残すこともあります。

支台歯形成を適切に行うためには、単に技術的な手順をなぞるだけでなく、形成に至るまでのプロセス全体を論理的に構築することが必要です。すなわち、診断の段階でどの情報を収集・評価すべきか、どのような要因が形成形態や支台歯選択に影響するのかをエビデンスに基づいて整理することが求められます。

本講演では、単独歯のクラウンから複数歯を含むブリッジ支台歯形成まで、支台歯形成の「基本」を振り返りつつ、臨床現場で直面する問題点を症例とともに提示します。そして「問題 → 要因 → 解決」の流れで支台歯形成のプロセスを再考し、実際の臨床において論理的に計画を立てる重要性を示したいと考えています。単なるテクニックの再確認にとどまらず、形成に至るまでの診断と判断のあり方を、明日からの臨床に活かせる形で共有したいと思います。

【略歴】

- 2014 年 4 月 臨床研修歯科医師
- 2015 年 4 月 神奈川歯科大学大学院 入学
- 2019 年 4 月 神奈川歯科大学大学院 歯学研究科口腔統合医療学講座 助教
- 2021 年 4 月 神奈川歯科大学 歯科補綴学講座クラウンブリッジ補綴学分野 助教
神奈川歯科大学附属病院 デジタル歯科診療科 副診療科長
- 2023 年 4 月 神奈川歯科大学 歯科補綴学講座クラウンブリッジ補綴学分野 講師（現職）
神奈川歯科大学附属病院 デジタル歯科診療科 診療科長
- 2024 年 4 月 神奈川歯科大学附属病院 補綴科クラウンブリッジ診療部門 診療部科長（現職）

*主な所属学会等

- 公益社団法人日本補綴歯科学会 学会認定専門医・代議員
- 一般社団法人日本デジタル歯科学会 専門医・代議員
- 一般社団法人日本口腔診断学会 認定医・代議員
- 日本義歯ケア学会 義歯ケアマイスター